



六小だより

令和 8 年 9 月 1 日

第 5 号

東大和市立第六小学校

校 長 飯塚 庫健

TEL 042(562)1158

— 花と緑の学校 —

六小・ホームページ <http://6s.hyama.andteacher.jp>

若竹のように たおやかに生きる

校長 飯塚 庫健

いよいよ本日、9月1日より2学期のスタートです。朝、校庭からは子供たちの笑顔や元気いっぱいの声が校長室まで届いています。六小の子供たちとの日常が戻ってきました。

さて、今年の夏休みを振り返ってみると、テレビやニュースで「台風」や「大雨」、「地震への備え」といった言葉をたくさん耳にした夏でした。そして、これらのニュースを見ながら、大変悲しい気持ちにもなりました。それは、激しい雨や地震などの災害によって、大切な命を失ってしまった方々がいたことです。亡くなられた方々のことを思うと、胸が痛むのと同時に、その悲しみを決して忘れてはいけないという思いをもちました。

そして、改めて今こうして元気に生きている私たちが、亡くなられた方々への思いを込めて、心に強く誓わなければという気持ちにもなりました。

それは、「たった一つしかない、自分の大切な命、そして周りの人たちの命を、何があっても絶対に守り抜く」ということです。災害は、いつ、どこで起きるか分かりません。だからこそ、学校で行う避難訓練の時だけでなく、普段の生活から、「もし今、ここで地震が起きたらどうする?」「強い雨が降ってきたら、どこへ逃げる?」など、自分でしっかりと考えることが大切です。子供たちには、周りの友達や先生とだけでなく、お家

の人と「どうすれば安全かな？」と、たくさん話し合ってほしいと思います。自分で考え、仲間と声を掛け合
って行動することは、「自分で考える力」と「助け合う心」と合わさって、いざというときに、私たち一人一人の
大切な命を守る一番強い盾になると信じているからです。

今日は、「防災の日」です。ぜひ、この学校便りをご覧になりながら、「うちの避難場所はどこだろう？」
「離ればなれになったらどこで会う？」といった防災についての話題を話し合ってみてください。

最後に、「若竹のように たおやかに生きる」という言葉を紹介して2学期始めの巻頭言とさせていただきます。
これは、私が担任時代から、今も公私ともにお世話になっている恩師からの言葉で、節目の時によ
く話してくれた言葉です。

「たおやか」難しい言葉ですが「しなやかで美しいさま」という意味で使われる言葉です。また、柔らかくた
わみつつ、しかし決して折れることのない芯の強さも、「たおやか」という言葉の中にあります。そして、姿・形・
動作がしなやかで優しく、ただ優しいだけではなく、しっかりと大地に根を張っている様子も表しています。

校長として、第六小学校の子供たちには、「若竹のようにたおやかな人」優しくて、しなやかで、芯が強い
人になってほしいと心から願っています。2学期もよろしくお願いします。